

議長の情報発信として、今回から議長コラムを定期的に更新していきます。

今回は、5月10日に行われました議長及び副議長選挙について紹介します。

議会の基本理念を定める宮崎市議会基本条例 第7条第4項では、「議会は、議長又は副議長を選出するときは、その経過を明らかにしなければならない」とされており、今回の議長、副議長選挙では、それぞれの職を志す議員が全議員の前で所信表明演説を行うことになりました。所信表明演説は、議長選挙では私が、副議長選挙では島田健一議員が行いました。

《議長選挙に向けた所信表明概略》

- 新型コロナウイルスは、宮崎市の経済、市民の生活に大きな影響を与えております。このような時だからこそ、議会が一丸となり、市民の生命と財産を守る為に、市当局と連携して取り組んでいきます。
- また、新型コロナウイルスに限らず、私たち議員には多くの市民から声が届きます。議会にはその声を届ける場として、一般質問や議案質疑、委員会の質疑などがありますが、多くの議員が質問をし、質の高い議会とするためにも、議会の会期等のスケジュールについて検討する時期に来ていると思います。
- 市議会議員選挙の投票率の低下を鑑み、SNSを有効に活用し、市民や団体などとの懇話会の開催、議長の定例会見など、さらなる情報発信に努め、市民が見て、市民が参加し、市民が興味を持てる議会を目指したいと考えます。
- 議会は、その権能として、市民から預かっている税金が無駄なく、公正で効果的に市民の暮らしのために使われているか、監視・チェックすることが出来ます。コロナ禍という危機だからこそ今まで以上に、議員間で討議し、政策立案、提言、提案できる議会となって、市民からも「議会は頼りになる、仕事をしている」と理解をしてもらえるようにしていきます。

私は第54代議長となりますが、祖父 鈴木荒利(第21、26、27代)と父 鈴木龍之介(第40代)が、昭和、平成、令和の3つの時代で議長として就任しており、改めて身の引き締まる思いでございます。

私の信条は「驕り高ぶらず、信念を貫く」です。

40名の議員で議論し、これからの宮崎市のために働き、市民の皆様に私たち議会の姿を伝えていきたいと思ひます。

※所 信 表 明 前議長・副議長が辞任後の休憩時間に全員協議会室で実施
※議長・副議長選挙 本会議で投票により実施



鈴木 一成 新議長

※議長選挙後の挨拶



島田 健一 新副議長

※副議長選挙後の挨拶